

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名			
病院名	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,888,432	
決算規模(千円)	778,825,653	
標準財政規模(千円)	421,760,445	
財政力指数	0.53481	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	192.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	39,628			
1 経常収益	39,628			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	39,628			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	39,628			
2 経常費用	39,628			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	-	-	9.5	13.5
経費	-	-	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	39,628			
(うち支払利息)	39,628	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.4
医業収支比率	-		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	総合病院岡山市立市民病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	414,502,028	
標準財政規模(千円)	201,342,926	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	45,253			
1 経常収益	45,253			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	45,253			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	45,253			
2 経常費用	45,253			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,253			
(うち支払利息)	45,253	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10569.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	414,502,028	
標準財政規模(千円)	201,342,926	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,606			
1 経常収益	16,606			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16,606			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,606			
2 経常費用	16,606			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	16,606			
(うち支払利息)	16,606		1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10569.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市			
病院名		国立病院機構岡山市立金川病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,592 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	69.3	76.9	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	69.3	76.9	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		32.6	32.8	36.3

設立団体の状況		
人口(人)	724,691	
決算規模(千円)	414,502,028	
標準財政規模(千円)	201,342,926	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	53,952			
1 経常収益	53,952			
(1) 医業収益	2,521			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,521			
(うち他会計負担金)	2,521			
(2) 医業外収益	51,431			
(うち国・都道府県補助金)	20,000			
(うち他会計補助・負担金)	9,796			
(うち長期前受金戻入)	21,635			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	71,003			
2 経常費用	71,003			
(1) 医業費用	57,167			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	34,873	1383.3	9.5	13.0
経費	22,294	884.3	22.7	47.1
(うち委託料)	875	34.7	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,836			
(うち支払利息)	9,796	388.6	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-17,051			
純損益	-17,051			
累積欠損金	266,455			
経常収支比率	76.0		101.9	98.5
医業収支比率	4.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	488.6		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	58.6		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	696,929
1 固定資産	696,629
(1) 有形固定資産	693,792
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,837
2 流動資産	300
(1) 現金及び預金	300
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	543,470
1 固定負債	521,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	521,102
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	22,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,016
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	52
(1) 長期前受金	90,614
(2) 長期前受金収益化累計額( )	90,562
資本合計	153,459
1 資本金	419,892
2 剰余金	-266,433
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-266,455
負債・資本合計	696,929
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,898	12,317
資本勘定繰入	10,817	21,635
計	15,715	33,952

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10569.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		倉敷市			
病院名		倉敷市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,117 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	198	61.4	78.0	66.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	61.4	78.0	66.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	17.4	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	474,592	
決算規模(千円)	254,084,183	
標準財政規模(千円)	111,246,341	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	31.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,670,616			
1 経常収益	3,603,095			
(1) 医業収益	2,937,391			
入院収益	1,816,606			
外来収益	837,509			
診療収入計	2,654,115			
その他医業収益	283,276			
(うち他会計負担金)	70,404			
(2) 医業外収益	665,704			
(うち国・都道府県補助金)	254,603			
(うち他会計補助・負担金)	159,327			
(うち長期前受金戻入)	48,813			
(うち資本費繰入収益)	140,552			
(3) 特別利益	67,521			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,780,620			
2 経常費用	3,712,151			
(1) 医業費用	3,575,820			
職員給与費	2,185,366	74.4	62.1	67.4
材料費	349,559	11.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	169,915	5.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	178,515	6.1	11.4	8.8
減価償却費	465,231	15.8	9.5	10.7
経費	570,948	19.4	22.7	29.2
(うち委託料)	388,842	13.2	12.6	13.9
研究研修費	2,506			
資産減耗費	2,210			
(2) 医業外費用	136,331			
(うち支払利息)	34,031	1.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	68,469			
損益				
経常損益	-109,056			
純損益	-110,004			
累積欠損金	3,796,489			
経常収支比率	97.1		101.9	100.3
医業収支比率	82.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.9		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,898,320
1 固定資産	8,141,147
(1) 有形固定資産	8,137,647
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,500
2 流動資産	757,173
(1) 現金及び預金	511,361
(2) 未収金及び未収収益	242,592
(3) 貸倒引当金( )	3,125
(4) 貯蔵品	6,345
3 繰延資産	-
負債合計	9,998,287
1 固定負債	7,661,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,151,859
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	675,523
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	834,180
(7) リース債務	-
2 流動負債	592,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	283,292
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	24,117
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	143,153
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	125,998
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,744,489
(1) 長期前受金	2,280,228
(2) 長期前受金収益化累計額( )	535,739
資本合計	-1,099,967
1 資本金	2,527,759
2 剰余金	-3,627,726
(1) 資本金剰余金	168,763
(2) 利益剰余金	-3,796,489
負債・資本合計	8,898,320
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,099,967
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.2
修正医業収益(千円)	2,866,987

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,788	229,731
資本勘定繰入	140,552	140,552
計	364,340	370,283

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	玉野市				
病院名	玉野市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,895 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	55.1	61.3	60.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	55.1	61.3	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.4	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	56,531	
決算規模(千円)	31,294,346	
標準財政規模(千円)	15,376,760	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,244,753			
1 経常収益	2,244,416			
(1) 医業収益	1,951,137			
入院収益	1,267,417			
外来収益	479,882			
診療収入計	1,747,299			
その他医業収益	203,838			
(うち他会計負担金)	92,075			
(2) 医業外収益	293,279			
(うち国・都道府県補助金)	45,272			
(うち他会計補助・負担金)	200,662			
(うち長期前受金戻入)	153			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	337			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,381,620			
2 経常費用	2,380,475			
(1) 医業費用	2,290,868			
職員給与費	1,492,095	76.5	62.1	67.4
材料費	252,289	12.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	158,681	8.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	93,608	4.8	11.4	8.8
減価償却費	76,515	3.9	9.5	10.7
経費	452,512	23.2	22.7	29.2
(うち委託料)	208,787	10.7	12.6	13.9
研究研修費	5,784			
資産減耗費	11,673			
(2) 医業外費用	89,607			
(うち支払利息)	1,237	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	1,145			
損益				
経常損益	-136,059			
純損益	-136,867			
累積欠損金	4,552,749			
経常収支比率	94.3		101.9	100.3
医業収支比率	85.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.0		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,710,052
1 固定資産	846,999
(1) 有形固定資産	812,393
(2) 無形固定資産	18,139
(3) 投資その他の資産	16,467
2 流動資産	863,053
(1) 現金及び預金	529,624
(2) 未収金及び未収収益	327,555
(3) 貸倒引当金( )	4,751
(4) 貯蔵品	10,625
3 繰延資産	-
負債合計	1,096,077
1 固定負債	648,967
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,200
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	507,128
(7) リース債務	26,639
2 流動負債	439,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	80,716
(6) リース債務	9,244
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	315,416
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,286
(1) 長期前受金	17,955
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,669
資本合計	613,975
1 資本金	5,151,624
2 剰余金	-4,537,649
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,537,649
負債・資本合計	1,710,052
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	1,859,062

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,027	292,737
資本勘定繰入	16,200	206,311
計	271,227	499,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	233.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		笠岡市			
病院名		笠岡市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,571 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	126	36.7	43.5	43.5
療養	68	34.9	66.7	76.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	194	36.1	47.6	49.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	12.6	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	46,088	
決算規模(千円)	28,990,060	
標準財政規模(千円)	13,273,097	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	59.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.3
修正医業収益(千円)	1,183,806

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,884,932			
1 経常収益	1,842,716			
(1) 医業収益	1,231,226			
入院収益	777,644			
外来収益	338,637			
診療収入計	1,116,281			
その他医業収益	114,945			
(うち他会計負担金)	47,420			
(2) 医業外収益	611,490			
(うち国・都道府県補助金)	276,291			
(うち他会計補助・負担金)	316,480			
(うち長期前受金戻入)	1,110			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	42,216			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,951,426			
2 経常費用	1,904,125			
(1) 医業費用	1,812,014			
職員給与費	1,028,042	83.5	62.1	67.4
材料費	143,407	11.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	72,005	5.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,886	4.2	11.4	8.8
減価償却費	93,185	7.6	9.5	10.7
経費	545,561	44.3	22.7	29.2
(うち委託料)	323,262	26.3	12.6	13.9
研究研修費	1,472			
資産減耗費	347			
(2) 医業外費用	92,111			
(うち支払利息)	3,053	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	47,301			
損益				
経常損益	-61,409			
純損益	-66,494			
累積欠損金	4,039,756			
経常収支比率	96.8		101.9	100.3
医業収支比率	67.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	29.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	77.7		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,432,933
1 固定資産	1,056,173
(1) 有形固定資産	1,034,038
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	16,800
2 流動資産	376,760
(1) 現金及び預金	116,726
(2) 未収金及び未収収益	259,361
(3) 貸倒引当金( )	2,352
(4) 貯蔵品	3,025
3 繰延資産	-
負債合計	1,527,761
1 固定負債	1,107,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	293,449
(2) その他の企業債	248,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	365,963
(7) リース債務	-
2 流動負債	345,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,434
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,580
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	210,759
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	74,244
(1) 長期前受金	152,643
(2) 長期前受金収益化累計額( )	78,399
資本合計	-94,828
1 資本金	3,860,707
2 剰余金	-3,955,535
(1) 資本金剰余金	84,221
(2) 利益剰余金	-4,039,756
負債・資本合計	1,432,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	94,828
資本不足額(繰延収益控除後)( )	20,584
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	238,102	363,900
資本勘定繰入	42,271	49,480
計	280,373	413,380

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	206,500	14.1
平成30年度	178,445	12.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	328.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	154,911
地財法上の資金不足比率(%)	12.5

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		井原市			
病院名		井原市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,444 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	120	65.6	65.7	74.4
療養	60	49.0	58.9	63.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	60.1	63.4	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.8	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	38,384	
決算規模(千円)	28,680,378	
標準財政規模(千円)	12,584,050	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収益(千円)	2,255,950

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,842,022			
1 経常収益	2,781,822			
(1) 医業収益	2,295,638			
入院収益	1,287,262			
外来収益	509,821			
診療収入計	1,797,083			
その他医業収益	498,555			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	486,184			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	374,470			
(うち長期前受金戻入)	90,143			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	60,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,756,427			
2 経常費用	2,696,227			
(1) 医業費用	2,573,795			
職員給与費	1,600,782	69.7	62.1	67.4
材料費	259,689	11.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	114,790	5.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	114,803	5.0	11.4	8.8
減価償却費	203,821	8.9	9.5	10.7
経費	505,666	22.0	22.7	29.2
(うち委託料)	173,787	7.6	12.6	13.9
研究研修費	3,033			
資産減耗費	804			
(2) 医業外費用	122,432			
(うち支払利息)	36,825	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	60,200			
損益				
経常損益	85,595			
純損益	85,595			
累積欠損金	645,262			
経常収支比率	103.2		101.9	100.3
医業収支比率	89.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	87.8		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,427,023
1 固定資産	2,823,516
(1) 有形固定資産	2,458,840
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	364,324
2 流動資産	1,603,507
(1) 現金及び預金	757,025
(2) 未収金及び未収収益	826,608
(3) 貸倒引当金( )	94
(4) 貯蔵品	19,726
3 繰延資産	-
負債合計	4,140,094
1 固定負債	2,600,515
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,484,069
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	116,446
(7) リース債務	-
2 流動負債	666,523
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	336,693
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	113,657
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	208,672
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	873,056
(1) 長期前受金	2,213,413
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,340,357
資本合計	286,929
1 資本金	812,351
2 剰余金	-525,422
(1) 資本金剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-533,160
負債・資本合計	4,427,023
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	414,158	414,158
資本勘定繰入	188,626	188,626
計	602,784	602,784

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	高梁市				
病院名	国保成羽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	54	79.1	77.2	85.2
療養	42	25.9	39.6	40.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	55.8	60.8	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	21.7	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	29,072	
決算規模(千円)	28,354,141	
標準財政規模(千円)	13,594,126	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	76.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.7
修正医業収益(千円)	1,035,616

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,428,760			
1 経常収益	1,428,760			
(1) 医業収益	1,070,127			
入院収益	525,082			
外来収益	433,101			
診療収入計	958,183			
その他医業収益	111,944			
(うち他会計負担金)	34,511			
(2) 医業外収益	358,633			
(うち国・都道府県補助金)	62,213			
(うち他会計補助・負担金)	209,884			
(うち長期前受金戻入)	30,894			
(うち資本費繰入収益)	26,821			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,532,204			
2 経常費用	1,523,835			
(1) 医業費用	1,424,658			
職員給与費	822,236	76.8	62.1	78.9
材料費	173,517	16.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	121,534	11.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,580	3.4	11.4	6.0
減価償却費	145,796	13.6	9.5	11.7
経費	280,373	26.2	22.7	31.2
(うち委託料)	135,734	12.7	12.6	14.3
研究研修費	763			
資産減耗費	1,973			
(2) 医業外費用	99,177			
(うち支払利息)	7,095	0.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	8,369			
損益				
経常損益	-95,075			
純損益	-103,444			
累積欠損金	982,567			
経常収支比率	93.8		101.9	100.3
医業収支比率	75.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	77.7		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,624,583
1 固定資産	2,063,052
(1) 有形固定資産	1,999,693
(2) 無形固定資産	11,376
(3) 投資その他の資産	51,983
2 流動資産	1,561,531
(1) 現金及び預金	1,076,198
(2) 未収金及び未収収益	483,806
(3) 貸倒引当金( )	67
(4) 貯蔵品	1,594
3 繰延資産	-
負債合計	1,555,939
1 固定負債	823,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	777,972
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	45,599
(7) リース債務	-
2 流動負債	202,323
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,938
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,260
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	90,388
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	530,045
(1) 長期前受金	960,662
(2) 長期前受金収益化累計額( )	430,617
資本合計	2,068,644
1 資本金	3,029,230
2 剰余金	-960,586
(1) 資本金剰余金	21,981
(2) 利益剰余金	-982,567
負債・資本合計	3,624,583
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	263,551	244,395
資本勘定繰入	23,273	23,273
計	286,824	267,668

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	備前市				
病院名	備前病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	46	64.5	65.6	73.4
療養	44	50.6	61.5	59.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	57.7	63.6	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	16.3	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	22,435,509	
標準財政規模(千円)	12,086,013	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	1,048,310

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,763,157			
1 経常収益	1,763,157			
(1) 医業収益	1,050,415			
入院収益	553,536			
外来収益	435,595			
診療収入計	989,131			
その他医業収益	61,284			
(うち他会計負担金)	2,105			
(2) 医業外収益	712,742			
(うち国・都道府県補助金)	85,229			
(うち他会計補助・負担金)	158,422			
(うち長期前受金戻入)	41,885			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,824,091			
2 経常費用	1,824,091			
(1) 医業費用	1,290,753			
職員給与費	811,849	77.3	62.1	78.9
材料費	138,617	13.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	55,886	5.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,372	6.5	11.4	6.0
減価償却費	78,071	7.4	9.5	11.7
経費	260,830	24.8	22.7	31.2
(うち委託料)	113,967	10.8	12.6	14.3
研究研修費	1,090			
資産減耗費	296			
(2) 医業外費用	533,338			
(うち支払利息)	33,619	3.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-60,934			
純損益	-60,934			
累積欠損金	1,772,119			
経常収支比率	96.7		101.9	100.3
医業収支比率	81.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	87.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,956,256
1 固定資産	7,045,002
(1) 有形固定資産	5,330,913
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,714,019
2 流動資産	1,911,254
(1) 現金及び預金	1,137,507
(2) 未収金及び未収収益	722,676
(3) 貸倒引当金( )	12,147
(4) 貯蔵品	62,870
3 繰延資産	-
負債合計	4,784,840
1 固定負債	3,022,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,907,758
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	114,894
(7) リース債務	-
2 流動負債	688,539
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	217,489
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,192
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,909
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,073,649
(1) 長期前受金	2,138,698
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,065,049
資本合計	4,171,416
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,435,248
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,520,153
負債・資本合計	8,956,256
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,014	160,527
資本勘定繰入	34,380	74,840
計	186,394	235,367

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				岡山県
市町村・組合名	備前市			
病院名	日生病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	6,545 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	61.3	59.2	62.8
療養	52	84.2	86.0	67.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	74.3	74.3	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	18.4	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	22,435,509	
標準財政規模(千円)	12,086,013	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,265,687			
1 経常収益	1,265,687			
(1) 医業収益	1,083,440			
入院収益	606,124			
外来収益	414,738			
診療収入計	1,020,862			
その他医業収益	62,578			
(うち他会計負担金)	22,256			
(2) 医業外収益	182,247			
(うち国・都道府県補助金)	14,806			
(うち他会計補助・負担金)	129,609			
(うち長期前受金戻入)	31,083			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,204,463			
2 経常費用	1,204,463			
(1) 医業費用	1,141,997			
職員給与費	599,992	55.4	62.1	78.9
材料費	298,980	27.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	225,352	20.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,420	5.8	11.4	6.0
減価償却費	68,779	6.3	9.5	11.7
経費	173,522	16.0	22.7	31.2
(うち委託料)	59,248	5.5	12.6	14.3
研究研修費	248			
資産減耗費	476			
(2) 医業外費用	62,466			
(うち支払利息)	13,972	1.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	61,224			
純損益	61,224			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.1		101.9	100.3
医業収支比率	94.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	12.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	92.5		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,956,256
1 固定資産	7,045,002
(1) 有形固定資産	5,330,913
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,714,019
2 流動資産	1,911,254
(1) 現金及び預金	1,137,507
(2) 未収金及び未収収益	722,676
(3) 貸倒引当金( )	12,147
(4) 貯蔵品	62,870
3 繰延資産	-
負債合計	4,784,840
1 固定負債	3,022,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,907,758
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	114,894
(7) リース債務	-
2 流動負債	688,539
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	217,489
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,192
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,909
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,073,649
(1) 長期前受金	2,138,698
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,065,049
資本合計	4,171,416
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,435,248
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,520,153
負債・資本合計	8,956,256
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収益(千円)	1,061,184

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,872	151,865
資本勘定繰入	21,386	24,743
計	172,258	176,608

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	備前市				
病院名	吉永病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	86.3	89.5	89.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	86.3	89.5	89.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	18.4	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	22,435,509	
標準財政規模(千円)	12,086,013	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,844,855			
1 経常収益	1,844,855			
(1) 医業収益	1,681,220			
入院収益	553,278			
外来収益	1,060,710			
診療収入計	1,613,988			
その他医業収益	67,232			
(うち他会計負担金)	3,198			
(2) 医業外収益	163,635			
(うち国・都道府県補助金)	29,028			
(うち他会計補助・負担金)	88,030			
(うち長期前受金戻入)	21,088			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,894,593			
2 経常費用	1,893,393			
(1) 医業費用	1,784,001			
職員給与費	886,854	52.8	62.1	78.9
材料費	504,291	30.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	385,192	22.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,481	6.3	11.4	6.0
減価償却費	68,835	4.1	9.5	11.7
経費	320,467	19.1	22.7	31.2
(うち委託料)	133,132	7.9	12.6	14.3
研究研修費	1,355			
資産減耗費	2,199			
(2) 医業外費用	109,392			
(うち支払利息)	20,527	1.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	1,200			
損益				
経常損益	-48,538			
純損益	-49,738			
累積欠損金	61,981			
経常収支比率	97.4		101.9	100.3
医業収支比率	94.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	92.6		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,956,256
1 固定資産	7,045,002
(1) 有形固定資産	5,330,913
(2) 無形固定資産	70
(3) 投資その他の資産	1,714,019
2 流動資産	1,911,254
(1) 現金及び預金	1,137,507
(2) 未収金及び未収収益	722,676
(3) 貸倒引当金( )	12,147
(4) 貯蔵品	62,870
3 繰延資産	-
負債合計	4,784,840
1 固定負債	3,022,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,907,758
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	114,894
(7) リース債務	-
2 流動負債	688,539
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	217,489
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,192
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,909
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,073,649
(1) 長期前受金	2,138,698
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,065,049
資本合計	4,171,416
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,435,248
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,520,153
負債・資本合計	8,956,256
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.1
修正医業収益(千円)	1,678,022

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90,236	91,228
資本勘定繰入	26,898	30,508
計	117,134	121,736

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		瀬戸内市			
病院名		瀬戸内市立瀬戸内市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,803 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	110	84.0	82.4	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	84.0	82.4	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.4	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	36,048	
決算規模(千円)	25,239,994	
標準財政規模(千円)	11,345,643	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	82.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	36.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,842,963			
1 経常収益	1,802,919			
(1) 医業収益	1,537,481			
入院収益	1,101,844			
外来収益	281,915			
診療収入計	1,383,759			
その他医業収益	153,722			
(うち他会計負担金)	44,385			
(2) 医業外収益	265,438			
(うち国・都道府県補助金)	116,891			
(うち他会計補助・負担金)	122,672			
(うち長期前受金戻入)	16,688			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,044			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,851,238			
2 経常費用	1,807,076			
(1) 医業費用	1,749,040			
職員給与費	964,620	62.7	62.1	67.4
材料費	126,483	8.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	45,730	3.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	77,616	5.0	11.4	8.8
減価償却費	190,082	12.4	9.5	10.7
経費	465,798	30.3	22.7	29.2
(うち委託料)	200,349	13.0	12.6	13.9
研究研修費	1,951			
資産減耗費	106			
(2) 医業外費用	58,036			
(うち支払利息)	11,166	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	44,162			
損益				
経常損益	-4,157			
純損益	-8,275			
累積欠損金	615,071			
経常収支比率	99.8		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.5		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,047,395
1 固定資産	2,810,980
(1) 有形固定資産	2,622,755
(2) 無形固定資産	11,342
(3) 投資その他の資産	176,883
2 流動資産	1,236,415
(1) 現金及び預金	929,479
(2) 未収金及び未収収益	305,342
(3) 貸倒引当金( )	1,914
(4) 貯蔵品	3,462
3 繰延資産	-
負債合計	2,843,052
1 固定負債	2,093,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,943,456
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	149,722
(7) リース債務	-
2 流動負債	292,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	133,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,751
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	80,509
(9) 前受金及び前受収益	115
3 繰延収益	457,452
(1) 長期前受金	557,527
(2) 長期前受金収益化累計額( )	100,075
資本合計	1,204,343
1 資本金	1,818,340
2 剰余金	-613,997
(1) 資本金剰余金	1,074
(2) 利益剰余金	-615,071
負債・資本合計	4,047,395
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.4
修正医業収益(千円)	1,493,096

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,472	167,057
資本勘定繰入	54,613	57,308
計	219,085	224,365

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				岡山県
市町村・組合名	真庭市			
病院名	真庭市国民健康保険湯原温泉病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	9,830 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第1種該当	
診療科数	18	指定病院の状況	救臨へ輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	61.3	66.5	71.8
療養	55	49.6	60.5	68.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	55.1	63.4	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	16.5	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	42,725	
決算規模(千円)	38,650,555	
標準財政規模(千円)	19,737,525	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,477,322			
1 経常収益	1,450,122			
(1) 医業収益	1,082,195			
入院収益	533,967			
外来収益	409,393			
診療収入計	943,360			
その他医業収益	138,835			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	367,927			
(うち国・都道府県補助金)	93,975			
(うち他会計補助・負担金)	245,027			
(うち長期前受金戻入)	20,396			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,442,046			
2 経常費用	1,413,004			
(1) 医業費用	1,345,022			
職員給与費	859,386	79.4	62.1	67.4
材料費	209,145	19.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	153,260	14.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,287	3.6	11.4	8.8
減価償却費	97,401	9.0	9.5	10.7
経費	174,706	16.1	22.7	29.2
(うち委託料)	72,458	6.7	12.6	13.9
研究研修費	997			
資産減耗費	3,387			
(2) 医業外費用	67,982			
(うち支払利息)	23,238	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	29,042			
損益				
経常損益	37,118			
純損益	35,276			
累積欠損金	393,555			
経常収支比率	102.6		101.9	100.3
医業収支比率	80.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.0		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	4,022,350
1 固定資産	2,513,125
(1) 有形固定資産	2,481,473
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	31,652
2 流動資産	1,509,225
(1) 現金及び預金	1,303,688
(2) 未収金及び未収収益	194,230
(3) 貸倒引当金( )	700
(4) 貯蔵品	12,006
3 繰延資産	-
負債合計	1,898,096
1 固定負債	1,223,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,001,520
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	221,654
(7) リース債務	-
2 流動負債	198,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,231
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,638
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	44,835
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	476,218
(1) 長期前受金	516,691
(2) 長期前受金収益化累計額( )	40,473
資本合計	2,124,254
1 資本金	2,179,744
2 剰余金	-55,490
(1) 資本金剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	-88,642
負債・資本合計	4,022,350
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.0
修正医業収益(千円)	1,035,719

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,832	291,503
資本勘定繰入	64,384	65,753
計	386,216	357,256

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	美作市				
病院名	美作市立大原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,642 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	80.5	93.9	95.0
療養	40	92.4	97.3	97.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	86.5	95.6	96.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.6	17.2

設立団体の状況		
人口(人)	25,939	
決算規模(千円)	25,587,103	
標準財政規模(千円)	13,977,197	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,108,134			
1 経常収益	1,088,334			
(1) 医業収益	816,360			
入院収益	535,602			
外来収益	174,990			
診療収入計	710,592			
その他医業収益	105,768			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	271,974			
(うち国・都道府県補助金)	49,679			
(うち他会計補助・負担金)	203,896			
(うち長期前受金戻入)	13,557			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,018,529			
2 経常費用	998,729			
(1) 医業費用	938,872			
職員給与費	579,267	71.0	62.1	78.9
材料費	109,213	13.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	51,604	6.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,861	5.1	11.4	6.0
減価償却費	70,683	8.7	9.5	11.7
経費	178,541	21.9	22.7	31.2
(うち委託料)	33,831	4.1	12.6	14.3
研究研修費	60			
資産減耗費	1,108			
(2) 医業外費用	59,857			
(うち支払利息)	11,016	1.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	19,800			
損益				
経常損益	89,605			
純損益	89,605			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.0		101.9	100.3
医業収支比率	87.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	84.9		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,040,195
1 固定資産	1,811,511
(1) 有形固定資産	1,591,268
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	220,243
2 流動資産	2,228,684
(1) 現金及び預金	1,979,894
(2) 未収金及び未収収益	249,642
(3) 貸倒引当金( )	3,500
(4) 貯蔵品	2,648
3 繰延資産	-
負債合計	1,043,805
1 固定負債	767,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	586,645
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	180,822
(7) リース債務	-
2 流動負債	71,064
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,678
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,469
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	205,274
(1) 長期前受金	505,231
(2) 長期前受金収益化累計額( )	299,957
資本合計	2,996,390
1 資本金	1,440,109
2 剰余金	1,556,281
(1) 資本金剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	1,507,027
負債・資本合計	4,040,195
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.1
修正医業収益(千円)	780,066

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,718	240,190
資本勘定繰入	74,270	76,379
計	313,988	316,569

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	矢掛町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,875 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	57	91.1	91.9	92.4
療養	60	86.0	87.4	85.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	88.5	89.6	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	19.8	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	13,414	
決算規模(千円)	11,020,665	
標準財政規模(千円)	5,286,224	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,719,642			
1 経常収益	1,665,661			
(1) 医業収益	1,406,405			
入院収益	1,000,476			
外来収益	305,007			
診療収入計	1,305,483			
その他医業収益	100,922			
(うち他会計負担金)	59,800			
(2) 医業外収益	259,256			
(うち国・都道府県補助金)	70,480			
(うち他会計補助・負担金)	123,100			
(うち長期前受金戻入)	14,102			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	53,981			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,734,902			
2 経常費用	1,699,302			
(1) 医業費用	1,602,889			
職員給与費	1,045,877	74.4	62.1	67.4
材料費	177,931	12.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	72,038	5.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,674	5.4	11.4	8.8
減価償却費	112,383	8.0	9.5	10.7
経費	258,698	18.4	22.7	29.2
(うち委託料)	106,328	7.6	12.6	13.9
研究研修費	985			
資産減耗費	7,015			
(2) 医業外費用	96,413			
(うち支払利息)	24,266	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	35,600			
損益				
経常損益	-33,641			
純損益	-15,260			
累積欠損金	134,923			
経常収支比率	98.0		101.9	100.3
医業収支比率	87.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	87.3		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,985,897
1 固定資産	3,151,456
(1) 有形固定資産	1,653,025
(2) 無形固定資産	150
(3) 投資その他の資産	1,498,281
2 流動資産	834,441
(1) 現金及び預金	465,586
(2) 未収金及び未収収益	362,221
(3) 貸倒引当金( )	368
(4) 貯蔵品	6,921
3 繰延資産	-
負債合計	2,231,929
1 固定負債	1,673,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,311,477
(2) その他の企業債	357
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	361,972
(7) リース債務	-
2 流動負債	256,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,010
(2) その他の企業債	178
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,553
(6) リース債務	2,605
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,932
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	301,559
(1) 長期前受金	504,687
(2) 長期前受金収益化累計額( )	203,128
資本合計	1,753,968
1 資本金	1,738,691
2 剰余金	15,277
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	15,277
負債・資本合計	3,985,897
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.0
修正医業収益(千円)	1,346,605

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,104	182,900
資本勘定繰入	61,635	61,600
計	261,739	244,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	鏡野町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	48	69.3	77.4	76.6
療養	40	59.0	62.3	76.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	64.6	70.5	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	18.4	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	12,062	
決算規模(千円)	13,443,579	
標準財政規模(千円)	7,217,820	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	85.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	57.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.5
修正医業収益(千円)	1,191,861

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,423,721			
1 経常収益	1,397,721			
(1) 医業収益	1,226,861			
入院収益	479,468			
外来収益	672,508			
診療収入計	1,151,976			
その他医業収益	74,885			
(うち他会計負担金)	35,000			
(2) 医業外収益	170,860			
(うち国・都道府県補助金)	37,657			
(うち他会計補助・負担金)	60,000			
(うち長期前受金戻入)	17,885			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,444,536			
2 経常費用	1,416,167			
(1) 医業費用	1,362,129			
職員給与費	790,617	64.4	62.1	78.9
材料費	368,670	30.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	295,893	24.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,959	5.0	11.4	6.0
減価償却費	74,439	6.1	9.5	11.7
経費	124,589	10.2	22.7	31.2
(うち委託料)	70,803	5.8	12.6	14.3
研究研修費	1,866			
資産減耗費	1,948			
(2) 医業外費用	54,038			
(うち支払利息)	3,255	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	28,369			
損益				
経常損益	-18,446			
純損益	-20,815			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.7		101.9	100.3
医業収支比率	90.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	92.0		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,634,596
1 固定資産	792,700
(1) 有形固定資産	791,474
(2) 無形固定資産	1,226
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,841,896
(1) 現金及び預金	1,652,249
(2) 未収金及び未収収益	191,423
(3) 貸倒引当金( )	4,032
(4) 貯蔵品	2,256
3 繰延資産	-
負債合計	509,425
1 固定負債	161,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	136,259
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,173
(7) リース債務	1,274
2 流動負債	139,459
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,888
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	52,272
(6) リース債務	728
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	208,260
(1) 長期前受金	730,765
(2) 長期前受金収益化累計額( )	522,505
資本合計	2,125,171
1 資本金	1,259,967
2 剰余金	865,204
(1) 資本金剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	860,903
負債・資本合計	2,634,596
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	37,984	95,000
資本勘定繰入	24,813	13,000
計	62,797	108,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		岡山市久米南町国民健康保険病院組合			
病院名		国保福渡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,860 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	31.6	35.5	35.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	31.6	35.5	35.0
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	17.9	16.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.5
修正医業収益(千円)	446,316

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	632,017			
1 経常収益	628,317			
(1) 医業収益	535,429			
入院収益	174,471			
外来収益	261,650			
診療収入計	436,121			
その他医業収益	99,308			
(うち他会計負担金)	89,113			
(2) 医業外収益	92,888			
(うち国・都道府県補助金)	8,499			
(うち他会計補助・負担金)	75,565			
(うち長期前受金戻入)	481			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	770,305			
2 経常費用	766,605			
(1) 医業費用	737,388			
職員給与費	489,847	91.5	62.1	78.9
材料費	63,866	11.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	28,961	5.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,651	5.4	11.4	6.0
減価償却費	57,473	10.7	9.5	11.7
経費	122,439	22.9	22.7	31.2
(うち委託料)	49,847	9.3	12.6	14.3
研究研修費	497			
資産減耗費	3,266			
(2) 医業外費用	29,217			
(うち支払利息)	5,111	1.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	3,700			
損益				
経常損益	-138,288			
純損益	-138,288			
累積欠損金	337,488			
経常収支比率	82.0		101.9	100.3
医業収支比率	72.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	30.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	60.5		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,636,886
1 固定資産	782,350
(1) 有形固定資産	705,799
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	76,551
2 流動資産	854,536
(1) 現金及び預金	771,280
(2) 未収金及び未収収益	81,452
(3) 貸倒引当金( )	2,006
(4) 貯蔵品	3,714
3 繰延資産	-
負債合計	406,939
1 固定負債	257,950
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	257,950
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	138,607
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,596
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,972
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	64,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,382
(1) 長期前受金	28,588
(2) 長期前受金収益化累計額( )	18,206
資本合計	1,229,947
1 資本金	1,370,891
2 剰余金	-140,944
(1) 資本金剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	-146,007
負債・資本合計	1,636,886
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	163,272	164,678
資本勘定繰入	44,101	58,239
計	207,373	222,917

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。